

西小校区共生ステーション協議会議事録

議 事 概 要	
開催日時	平成 26 年 10 月 17 日（金） 午後 7 時から午後 9 時まで
開催場所	西小校区共生ステーション 会議室
出席者氏名 （敬称略）	片山かおり、加藤申二郎、川本達也、さとうゆみ、中島和代、 中嶋久善、深貝良弘、山本富士子、吉田ひでき、渡辺聖司 長久手市 たつせがある課 主任専門員 遠藤健一

※台風の影響により日程を変更して開催した。

《議題》

1 利用状況について

- (1) 市外の利用者が増加してきている。また、利用マナーが悪化してきているので注意が必要である。
- (2) 印刷機の使用量が、月に 3,000 枚を超える状況である。原則、印刷コストは行政が負担しているが、今後は利用制限について検討の余地がある。当面は、市内の地域活動に関わる案件に限定し、使用料は無償とすることとした。

2 市民提案プログラムについて

つまみ細工や手仕事カフェ、森のくまさんといった提案プログラムが人気である。できる限り多くの方が参加できるように配慮が必要である。

3 西小校区共生ステーションだよりについて

自治会連合会長の協力によって、自治会の回覧ルートを活用してイベント周知が出来ている。

4 駐車場の利用について

イベント開催時に駐車場がいっぱいになることがあったが、協議の結果、プログラム日程を決定する際に、事務局で駐車利用可能場所の提示と駐車台数に限りがあることを主催者に知らせることとなった。

無断駐車車両に関する対策は、共生ステーション事務局だけではなく JA あいち尾東と協議が必要である。

5 会議室利用登録団体の再調査について

利用頻度が低い登録団体については、事務局で許可の見直しを検討する。まちづくりセンターの手法などを参考にしながら、合理的な方法で進めていく。

6 コミュニティ部会の設置について

西小校区自治会連合会が主になり、年度末をめどに進めていく。

7 フリースペースの活用方法について

土曜日の 5 時以降、児童が保護者のいない状況で利用している。協議の結果、児童の安全に配慮して小学生以下の午後 5 時以降の利用については、保護者の同伴が条件であることとした。

8 西小校区共生ステーション1周年記念イベントの開催について

市民提案型のプログラム事業をオープンスペースやキッチン、会議室を使用して展開する。主体は市民であり、事務局はサポートを行う。なお、材料費は行政が負担する。

9 会議室の利用団体の審議について

- (1) あすの子ども会 (承認：コード L02.10)
- (2) 長久手市子ども会連絡協議会 (承認：コード L02.10)

10 プログラム提案の審議について

健康と美と癒し“整膚”体験 (承認：コード L02.10、条件：無償ボランティアであること)

11 その他自由意見

- (1) 協議会だけではなく、フリースペースを活用して日中に歓談しながらステーションの使い方などを話し合えるとよい。
- (2) 来所する子どもたちに一般的なマナーを教え、他人に対する思いやりをもたせることも考えていくべきではないか。
- (3) 協議会のメンバーは、実際にステーションの現場の雰囲気を見たり、イベントに参加したりして実情と変化を体験していることが望ましい。
- (4) 現在のところ、共生ステーションの役割は絆づくりが限界ではないか。

以上